



世代間交流・・・相撲大会に向けて

校 長 芝原 にほ

いつまでも厳しい残暑が続いています。それでも、少しずつ、朝夕はひんやりした空気をを感じるようになりました。子ども達は、9月に入ってから、暑さに負けず、運動会の練習をがんばってきました。9月28日(日)は、校区合同秋季大運動会です。子ども達の頑張りを、集落の絆を深めるために、ぜひ、校区のみなさん総出でお越しください。楽しい一日にしましょう。



ところで、昔から、彼岸や秋祭り、十五夜などでは、相撲がとられてきました。どうしてでしょうか。相撲は、古代から、五穀豊穡を願う儀式、神事としての意味合いがあったようです。旧暦の7月は、現在の秋にあたり、「相撲」は秋の季語になっています。由来はさておき身体一つで、相手にぶつかり、双方が全力で取り組み、時には、身体の小さい方が大きい方を負かしてしまうなどスポーツとしての楽しみも大きく、日本人の心を捉えてきたのではないかと思います。南界校区でも、校区の相撲大会が10月18日(土)に開催されます。例年、小学生、中学生の力



の入った相撲が見られます、いつもとは違う子ども達の表情が見られるはずです。ぜひ、南界小校庭にある南界相撲場に観戦にいらしてください。子ども達には、このような機会をぜひ経験して欲しいと思っています。

(↑このイラストはCanvaで作成しました。) さらに、10月26日(日)には、町の相撲大会が実施されます。南界校区からも代表選手が出場します。この大会に向けての練習が10月20日から行われます。小学生から成人までが出場する大会です。練習にも、多くの先輩方が参加し、小学生には大変貴重な時間になっています。様々な年代が、一緒に活動する機会は、子どもにとって教室では学ぶことができない大切なことを学ぶチャンスです。そして、このような触れ合いから「南界魂」が受け継がれていくのではないかと思います。体力的には厳しい日々が続くかもしれませんが、出場されるみなさんには、心からの声援を送りたいと思います。そして、南界校区全員で応援に出かけましょう。

サンライフ通信

久しぶりの報告となりました。

9月13日(土)今年度4回目の古市家塾を開催しました。今回は、竹とんぼ作りに挑戦しました。講師は、校区内の「気持ちはいつまでも少年」の3人。初めて使う小刀に悪戦苦闘しながら、何とか竹を削り、羽根の傾きで右利き用と左利き用が変わることをできあがってから知り・・・と多くの学びがある時間となりました。何とか、全員「マイ竹とんぼ」を仕上げることで飛行大会を実施して盛り上がりしました。



留学生募集は、10月24日(金)がメ切です。
興味のある方、御連絡をお待ちしています。